

杜陵  
だより

第7-1号

発行: 岩手県立杜陵学園  
(児童自立支援施設)〒020-0124 盛岡市  
岩手県盛岡市  
厨川二丁目3番1号  
電話: 019-641-3365

## 巻頭言

岩手県立杜陵学園長

中村 敬

令和七年度は、六名でスタートしましたが、四月以降、四名入所し、七月現在では入所児童十名となっています。昨年度は、七名の児童が退園していきました。今年度も、各々の課題を克服し、できるだけ多くの子どもが地域に戻って生活できるよう関係機関の協力を得ながら支援していきたいと考えています。

五月には、昨年度同様、好評であったデイキヤンプを実施しました。今年は、新たに焼き板クラフト、バームクーヘン作りなど楽しい企画も取り入れ、グラウンドゴルフも盛り上がるなど、子どもたちは、各々の役割を全うし、学びを深めた楽しい経験だったと思います。

また、今年のブロック野球大会は、六月二十日から二十七日にかけて、岩手県での地元開催となりました。大会には、正式参加可能な七

名全員で何とか試合に臨むことができました。初戦は、朝日学園で、途中雨降る中で最後まで諦めず戦い、一点差で勝利することができました。第二試合は雨天により、翌日に順延となり、全国大会をかけた試合に臨みました。相手は大沼学園で二年連続優勝の強豪チームです。初回から十点を許してしまいました。二回は0点に抑え、三回で十一対0のリード負けを喫し、試合終了となりました。残念な結果ではありましたが、子どもたちは、各々全力で試合に臨み、キラッと光るプレーも随所に見られ、最後まで全力プレーできた子どもたちにはエール・拍手を送りたい

今年のグラウンド開きは児童7名でした。  
ここから野球練習が本格化しました。

いと思います。

行事に取り組むにあたって、子どもたちの各々の課題が見えてくることもあります。ただ、それ以上に大きな成長も期待され、一つの目標に向かって、各々の責任を果たしつつ、貴重な経験を重ねること、自立成長につながる掛け替えのない機会でもあります。行事に限らないですが、職員の日々の地道な丁寧な関わりを通し、信頼関係を築く中で、子どもたちは、安心して様々なことに挑戦し、力を発揮していけるものと信じています。子どもたちの更なる成長を願って、今年度も、引き続き保護者をはじめ、学校、地域、各関係機関の皆様には、一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

杜陵学園OB職員との練習試合。  
毎年、貴重な実践練習の場となっています。

## デイキャンプ

五月二十三日、学園の豊かな自然を生かして、デイキャンプを楽しみました。

午前中は、ブルーシートで一人一テントを設営し、焚火で焼き板をして作った個性あふれる手作りルームプレートを入り口に飾り、キャンプの雰囲気盛り上げました。

昼食は防災時も役立つアイラップを使った湯せん調理で、オムライスと野菜スープを作り、牛乳パックの手作り食器で頂きました。みんなと外で食べる食事は格別で、おかわりも完食。デザートは、焚火でバウムクーヘンを作りました。職員や友人と協力して生地を

バウムクーヘン作りの様子。協力しながらおいしく作ることができました。

## 畑作業

回しかけ、じっくり時間をかけ、何層にも重ねて作ったバウムクーヘン。出来上がり、断面の模様を見た時、また、一口ほおばった時の子どもたちの目の輝きは、忘れられません。

午後は、グランドゴルフ大会で大いに盛り上がりしました。勝敗に拘りすぎることなく、励まし合ったり讃え合ったり姿も見られ、最後まで笑顔で活動することができました。

子どもたちと学園・学校の職員が一緒になって楽しむことで、相互理解を深める良い機会となりました。(渡邊)

作業活動の時間は、農作業や環境整備活動を行うことを通じて、職員の指示を理解し実行することや集団行動の経験を積むこと、さらには最後までやり抜く力を育むことを目的としています。

主に晴天時には農作業を、雨天時には園内の清掃などの環境整備活動を実施します。また、園内には芝生敷きとなっている箇所もあり、刈られた芝や雑草を集めるというような作業も重要です。

農作業では、入所児童が希望する作物を育てるという取り組みも行っています。

7月には記録的な猛暑・少雨となり、作物の生育には大きな障害となるものでした。しかし、児童たちが虫に驚きながらも靴や手を土だらけにして除草作業を行ったり、職員たちが散水等の管理を行うことで収量がゼロとなる事態は回避することができています。

だんだんと収穫も始まり、先日は当園で収穫したジャガイモなどの野菜を使用した調理実習やバーベキューを実施しました。包丁に慣れない児童が試行錯誤する様子もありましたが、児童たちの笑顔も見られ作業の成果を感じられる機会となったのではないかと思います。(高梨)

収穫した野菜を使って行われたバーベキューの様子。自分たちで育てた野菜の味は格別でした。

# 全国少年野球東北・北海道地区大会

今年度の野球大会は本県開催、更には全国大会が沖縄県で開催されることもあり、児童・職員共にモチベーション高く野球に取り組んでまいりました。ただし、大会参加に至るまでは、決して順風満帆ではありませんでした。チームがまとまらず練習が成り立たないこと、上手くプレーできずに下向きの気持ちを引きずつたこと…様々な苦難を乗り越えて、先に行われたOB戦では、OBの方々に堂々としたプレーを披露することができました。

開会式の行進の様子。息の合った掛け声で堂々と行進しました。

迎えた本番では、チームスローガン「丸」の下、開会式でのキャプテンでの素晴らしい選手宣誓を筆頭に、それぞれが自身の持つ力以上のものを出し切りしました。

初戦の勝利のまま、勢いに乗りたい当園でしたが、次なる相手は前年度優勝の北海道立大沼学園でした。なんとか一矢報いた当園でしたが、結果は0対11の完敗でした。ただし、大差がついても、児童一人一人が決してあきらめずに白球を追いかけ、そして大きな声を出してチームを鼓舞し続ける姿に、我々職員一同は成長を感じました。これらの姿から我々が児童に日々伝えていた『スポーツの本来の目的』を全員が達成してくれたと感じております。

エースの力投。粘り強い投球でチームに流れを持っていきます。

先にも触れたように、今年度の大会は本県開催ということもあり、当園職員は大会運営に労力を割かれてしまうことが多くありました。これにより、例年よりも充実した野球指導ができなかったことを児童に大変申し訳なく思います。それと同時に『児童の協力』にもよって、本県開催が無事に成功できたのだと実感しております。

最後に、大会開催・参加にあたり、御協力いただいた、保護者・地域・関係機関の皆様、大変ありがとうございます。今後とも当園児童を暖かく見守っていただけると幸いです。(菊池)

大会では、日々の練習の成果を生かし、攻守にわたって一生懸命なプレーを見せてくれました。

## 新任職員紹介

今年度着任された先生方を紹介します。

**児童自立支援専門員 佐久間敬**

初めての杜陵学園での勤務となります。スポーツや畑作業など、様々な活動を通して、子ども達と一緒に自分自身も成長していきたいと思っています。よろしくお願いします。

**児童自立支援専門員 熊谷和佳**

慣れない分野での勤務ですが、子ども達と一緒に多くのことを学び、自分自身も少しずつ成長していけるように努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

**主事兼職業指導員 若狭和輝**

新採用で杜陵学園に配属になりました。さまざまな活動を通して子どもたちと信頼関係を築き、常に学び続ける姿勢を大切にしながら日々の業務に取り組んでいきます。

**分校・分教室教員(数学) 佐々木雅**

数学の学習を通して、わかる喜びや自律心を共に育みたいと思います。また、スポーツや作業などの経験を通して、様々な学びを共にしていけたらと思います。

## 児童入所状況

| 月    | 4 | 5 | 6 | 7  | 延計 |
|------|---|---|---|----|----|
| 月初人数 | 6 | 7 | 9 | 10 |    |
| 月中入所 | 2 | 0 | 1 | 1  | 2  |
| 月中退所 | 0 | 0 | 0 | 0  | 0  |

(単位:名)

皆様からのご意見・ご感想はインターネットで受け付けております。

<https://www.pref.iwate.jp/kensei/koucho-ukouhou/teigen/1000810.html>

**分校・分教室教員(理科) 高橋淳一**

理科の授業や日々の生活を通して、子どもたちと共に未来を語り、自信と充実感を支えていく姿勢を大切にして行きたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

**分校・分教室教員(技術) 藤原卓也**

いろいろなものづくりを通して、技術のしくみや、ものの大切さ、つくるひとの願いをみなさんと一緒にみつけていきたいとです。よろしくお願いします。

## 主要行事(8月~11月)

- 8月: 2学期始業式、夏休み明け実力テスト
- 9月: 中間テスト  
北奥羽児童自立支援施設スポーツ交歓会(バドミントン)  
修学旅行(小学6年生、中学3年生)
- 10月: 学習発表会、グラウンド納め
- 11月: 職場体験(中学2年生)

## 編集後記

このたび、杜陵だよりの作成にあたり、職員一同で協力しながら編集作業を進めてまいりました。子どもたちの日々の生活を振り返る中で、改めて一人ひとりの頑張りや、日常の中にある小さな成長に気づかされる機会となりました。

これからもさまざまな行事が予定されています。引き続き学園の様子を、お便りを通してお届けしますので、ぜひご覧いただければ幸いです。今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願いします。

(佐藤)